

理事会議事録

平成30年4月28日13時00分、慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟会議室4において、理事会を開催した。

定刻に、代表理事栄田敏之が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議入った。

理 事 総 数 12名

本日の出席理事数 10名（家入一郎、奥田真弘、栄田敏之、志賀剛、
篠崎公一、菅原満、谷川原祐介、平田純生、
増田智先、三浦崇則）

本日の欠席理事数 2名（上野和行、本間真人）

監 事 総 数 2名

本日の出席監事数 2名（越前宏俊、加藤隆児）

本日の欠席監事数 0名

第1号議案 評議員の選出

議長は、定款第12条に従い、評議員を新たに選出したい旨を述べ、その選出について一同に諮ったところ、満場一致をもって次の者を評議員に選出した。

伊東弘樹 （大分大学医学部附属病院薬剤部）

岡田賢二 （横浜薬科大学）

小林昌宏 （北里大学薬学部）

小松敏彰 （北里大学病院）

鈴木陽介 （大分大学医学部附属病院薬剤部）

竹内裕紀 （東京薬科大学）

寺田智祐 （滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部）

土岐浩介 （筑波大学医学医療系）

内藤隆文 （浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）

中村任 （大阪薬科大学）

新岡丈典 （弘前大学医学部附属病院薬剤部）

山口浩明 （東北大学病院薬剤部）

山本武人 （東京大学大学院薬学研究科）

（計13名、五十音順）

なお、次回の定時社員総会にて、評議員資格を有し、資格の継続を希望した現評議員72名とともに、選任決議が行われることを確認した。

第2号議案 平成29年度決算、平成30年度予算案について

議長は、平成29年度決算、平成30年度予算案を承認したい旨を述べ、その内容について一同に諮ったところ、原案を一部修正し、満場一致をもって承認された。

第3号議案 総会資料の確認

議長は、総会資料を承認したい旨を述べ、その内容について一同に諮ったところ、原案を一部修正し、満場一致をもって承認された。

第4号議案 第37回、第38回学術大会の会長について

議長は、第37回学術大会の会長を選出したい旨を述べ、その選出に関して一同に諮ったところ、第37回会長として、満場一致をもって三浦崇則理事を選出した。なお、被選出者は、その就任を承諾した。なお、前回理事会にて第38回会長に本間真人理事を選出したことを確認した。

第5号議案 2018年度「TDM研究」優秀論文賞の選考に関して

議長は、2018年度「TDM研究」優秀論文賞（大日本住友製薬賞）の受賞者を選考したい旨を述べ、その選考について一同に諮ったところ、原案通り、満場一致をもって承認された。なお、受賞者は以下の通りである。

小松 敏彰、他（北里大学病院薬剤部）

メタアナリシスの手法を用いたLinezolidの血中濃度管理に関する検討

TDM研究, Vol.34, No.1, p.8-12

河渕 真治, 他 (京都薬科大学薬物動態学分野)

敗血症患者におけるアジスロマイシン持続投与後の体内動態および基礎的検討
TDM研究, Vol.34, No.4, 119-125

第6号議案 IATDMCTとの連携に関して

議長は、本学会の国際化を推進することを鑑み、その具体的方策を前向きに検討したい旨を述べ、一同に諮ったところ、満場一致をもって承認された。なお、今後、本学会とIATDMCTの間で合意文書（案）の作成を受け、その細部の内容を審議、確認することも合意した。また、本学会及びIATDMCTの会員に対して2015年度より5年間の予定で実施している会費補助に関しては、合意文書締結に基づく新制度開始までは現行通り実施することとした。

以上の決議に続いて、以下の報告があった。

1. 次期理事候補者について

代表理事栄田敏之より、次期理事候補者として、次の者から立候補の届けがあったことが報告された。

家入一郎	(九州大学大学院薬学研究院)
池田賢二	(大阪大谷大学薬学部)
奥田真弘	(三重大学医学部附属病院薬剤部)
栄田敏之	(京都薬科大学)
志賀剛	(東京女子医科大学循環器内科)
篠崎公一	(北里大学薬学部)
菅原満	(北海道大学大学院薬学研究院)
谷川原祐介	(慶應義塾大学医学部)
本間真人	(筑波大学医学医療系)
増田智先	(九州大学病院薬剤部)
三浦崇則	(安生更生病院教育研修・臨床研究支援センター)

(計11名、五十音順)

なお、定款第16条に従い、次回の定時社員総会にて、選任決議が行われることを確認した。

2. 会則・利益相反委員会報告

利益相反委員会委員奥田真弘より、理事、監事並びに抗てんかん薬TDMガイドライン（仮称）の策定委員会委員から提出を受けた利益相反自己申告書に関して、利益相反状態の確認を行った結果、直ちに問題となる案件はないことが報告された。

3. 第34回日本TDM学会・学術大会報告

会長奥田真弘より、第34回日本TDM学会・学術大会（会期：2017年9月23日（土）～24日（日）、会場：国立京都国際会館）に関して、決算の報告があった。

4. 第36回日本TDM学会・学術大会準備状況報告

会長志賀剛より、2019年5月25日（土）～26日（日）に、日本橋コングレスクエアにて開催予定の第36回日本TDM学会・学術大会に関して、準備状況の報告があった。

5. 2018年度「IATDMCT学術大会」派遣賞の選考経過について

優秀論文賞等選考委員会委員長家入一郎より選考経過の報告があった。なお、選考結果に関しては、メール審議とすることとした。

6. 広報委員会報告

広報委員会委員長菅原満より、学会ホームページの改善に関して、進捗状況の報告があった。

7. その他

次回理事会を平成30年秋に開催することで合意した。

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は18時00分閉会を宣した。

上記の議決を明確にするため、出席代表理事及び出席監事が次に記名押印する。

平成30年4月28日

一般社団法人日本TDM学会理事会

出席代表理事 栄田敏之

出席監事 越前宏俊

出席監事 加藤隆児